

会 議 録		令和6年6月28日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府城陽警察署協議会（令和6年度第1回）		
開催日	令和6年6月24日（月曜日）		
時 間	午後3時30分から午後5時までの間（90分間）		
場 所	京都府城陽警察署 講堂		
出席者	大久保会長、岸本委員、武田委員、森委員、亀川委員、水田委員、 中川委員、島本委員、浦畑委員、田中委員 （欠席 佐川委員） <span style="float: right;">計10名</span>		
	署長、副署長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 警備課長 交通指導係長、広聴係長 <span style="float: right;">計9名</span>		
諮 問 事 項	1 警察官採用状況について 2 城陽警察署警戒の空白地区解消プロジェクト		
会 議 内 容	1 署長挨拶 <span style="float: right;">司会 副署長</span> 2 会長挨拶 3 協議 <span style="float: right;">司会 会長</span> (1) 諮問事項説明～警務課長 警察官採用状況について 【委員】採用条件に35歳以下とあるが、中途採用も可能ということか。 【警察】中途採用者は多数いる。民間企業や教員、消防吏員、自衛官等の他 公務員からの転職もあり、私が警察官になった時は年齢制限が26歳以 下という時もあったが、少子高齢化の影響もあり、徐々に年齢が上が っていき現在は35歳以下となっている。 【委員】女性の採用率は多いのか。 【警察】女性警察官の割合については、令和8年4月1日までに12パーセン ト以上を目標としていたが、本年4月1日現在において12.3パーセン トと目標を達成した。 【委員】警察官になるのに必要な資格はあるのか。 【警察】何か資格がないと警察官になれないということはない。必要な資格 は警察官になってから取得させるようにしており、柔道や剣道も未經		

会 議  
内 容

験者がほとんどである。

外国語会話の資格や柔剣道の有段者などは加点の対象にはなるが、持っていないからといって、それが理由となり採用されないということはない。

【委員】大学卒と高校卒で区別はあるのか。

【警察】昇任試験の受験資格を得る年数や給与面で多少差がある。また大学卒の採用枠の方が多いため、若干有利に感じる人もいるかもしれないが、組織内の配置や昇任に関しては大学卒や高校卒で有利不利はない。

【委員】受験者数の確保は何人くらい必要なのか。

【警察】具体的な数を挙げるのは難しい。ただ、毎年退職者数を考慮して採用数を決定するので、良い人材を採用しようと思うと、採用数ギリギリではなく、多ければ多いほうが良い。

【委員】警察24時などのテレビで早朝から夜遅くまで残業している姿が紹介されているのを見ると、今の若者には仕事がきついと感じて敬遠されているのではないか。

【警察】確かに、残業が必要な時もあるのは事実であるが、警察も働き方改革が行われ、昔に比べて休みも取得しやすく、残業も幹部がしっかり管理し極力しないよう調整している。

【委員】外国籍の採用者はいるのか。

【警察】外国籍の採用はないが、日本国籍であれば受験資格を有しているということになる。

(2) 諮問事項説明～地域課長

城陽警察署警戒の空白地区解消プロジェクト

【委員】説明のあった防犯カメラはどこが設置しているのか。

【警察】城陽市が市内に設置している防犯カメラのことである。城陽市の防犯カメラの設置台数は行政区の中でもトップクラスである。

【委員】防犯カメラの設置場所を警察が指定したりはしないのか。

【警察】事件・事故の発生場所を検証して市にお願いをすることはある。

【委員】夜間に街灯が少なく暗い道路が城陽市には多いという声を聴くが、防犯カメラだけでなく街灯の設置も促してほしい。

【警察】警察としても、危険だと感じる場所については設置等を市へお願いすることもあるが、市内全域に目が届いていないこともあり得るので「ここが危ない。」と思う箇所があれば、自治会などを通じて市へ要望されることも手段の一つではある。

【委員】市設置以外の防犯カメラは把握しているのか。

【警察】地元企業や個人店舗、個人宅などの防犯カメラについても把握している箇所はあり、事件・事故が発生すれば映像提供の協力をお願いし

ている。しかし、市内全てを把握するのは難しい。

【委員】防犯カメラは行政が主なのか、警察で設置はしないのか。

【警察】行政中心で行っている。警察で設置するとなると市民の中には警察に監視されていると抵抗を感じる方もおられるので、警察が設置するのは非常に難しい。あくまで犯罪予防のための防犯カメラであり、市民を監視する監視カメラではないと認識していただきたい。

【委員】行政に働き掛け、防犯カメラを増やしていただきたい。

【警察】防犯カメラは民間の防犯ツールであるとともに、警察にとっての捜査ツールでもあるので、今後も市と連携を取っていく。

【委員】空白地区についてはリストアップしているのか。

【警察】その地域には個別に訪問し、防犯指導を行っている。

会 議  
内 容

【委員】近年、城陽市も外国人就労者を多く見掛けるようになったが、外国人の犯罪は多いのか。

【警察】増加はしているが、過去に比べてというだけで多いというわけではない。

【委員】城陽市内で居住若しくは働いている外国人の方について把握をされているのか。

【警察】居住や就労について警察への届出義務もないので、全ては把握できない。外国人の方の場合、国によって習慣や法律が異なり、自国で違法でないことが日本では違法ということもあるため、外国人の方を雇用する事業所などに対して指導等を行っている。

【委員】逆に外国人の方が被害者となる事件が発生しないよう、外国人向けの防犯教室なども事業所に赴き実施することも必要ではないか。

【警察】良い御意見だと思うので前向きに検討したい。

以上

## 第1回京都府城陽警察署協議会の開催状況

